

現地材質判定 (PMI)

鋼材の材質判定がその場で瞬時に可能

PMI (Positive Material Identification) は、鉄鋼, Ni合金, Co合金, Al合金, Ti合金等の材質判定①発光分光法と②蛍光X線法を用途に合わせて使い分け、鋼材や製品を現地で非破壊で材質判定します。

◆現場での分析方法は2種類

①発光分光分析法 (スパーク法)

検査対象の表面でスパーク放電で行うと、試料表面に存在する元素が励起されて発光します。そのスペクトルを分析することによって、表面元素の組成を分析します。



①発光分光分析法

- ・ **炭素が定量出来る**ため低炭素材の識別が可能です。
- ・ 発光痕 (φ5mm程度) が分析の証跡となります。
- ・ 分析精度はXRF法よりも優。

②蛍光X線分析法 (XRF: X-ray fluorescence)

検査対象の表面にX線を照射すると、試料表面に存在する元素から特性X線が発生します。その特性X線のエネルギーを分析することによって、表面元素の組成を分析します。



②蛍光X線分析法 (XRF法)

- ・ 材質判定 (自動) が1分以内で可能です。
- ・ 蛍光X線タイプのため**検査痕は残りません。**